



袋小だより

令和3年1月号

北区立袋小学校

URL <http://www.city.kita.tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsu/fukuro/index.html>

切り拓いていく年に

校長 新紺 明典

新年明けましておめでとうございます。穏やかに新年を迎えられたことと存じます。

今年も、保護者や地域の皆様と共に、全力で教育活動を実践して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

冬休みが終わり、子供たちが学校に戻ってきました。令和3年の始まりです。コロナ禍ではありましたが、年末年始は御家族や近い方々と過ごし、『令和2年はすごい年だった。令和3年はいい年にしたいね』などとたくさん話したのではないのでしょうか。新しい年に期待が膨らみます。

今年も干支から令和3年（2021年）を考えてみます。（諸説あるとは思いますが。）

十二支は丑（牛：うし）年です。「丑」には「曲がっていたものが伸びる」「始める」「結ぶ」「つかむ」という意味があるそうです。

十干では今年「辛（かのと）」の年となります。「辛」には「上に向かう」「その過程でつらい、からいがある」という意味があるようです。十干と十二支を合わせると今年「辛丑（かのとうし）年」となります。「曲がっていたものが伸び始める」「上に向かうがつかいことがある」まさに、新型コロナウイルス感染症に翻弄された社会を立て直す一年になるのではないのでしょうか。ただ、その過程には厳しさが生じるようではあります。厳しさはあっても、令和2年とは異なっています。私たちはどのような厳しいことが起こりそうか分かっています。そして、どのように対応すれば望ましいかを知っています。令和2年で一番学んだことは、「考えなければならない」、「自ら行動を起こさなければ得られることは少ない」ということでした。令和3年はつらいこともあるかもしれないが、チャンスと捉え、切り拓いていく年にしたいと考えています。学校だけでなく、地域や保護者の皆様、関係する機関と共に教育活動を進めていきます。是非お力添えをいただきたく、お願ひいたします。

令和3年の初めの課題は、国のGIGAスクール構想（Global and Innovation Gateway for All 一全ての人にグローバルで革新的な入り口を）による子供たち一人一人に1台ずつのICT機器（Chrome〈クロム〉PC）の貸与と日常的な活用となります。詳細については、今現在、国、都、北区によって検討中ですが、ICT機器を使う良さ、危うさを見極めつつ新しい教育活動を始めていきます。ICT機器の活用については保護者の皆様にお願ひする場面が多くあります。ご協力をお願ひいたします。

1月行事予定



7日（木）冬季休業日終	20日（水）学力フォローアップ教室
8日（金）4時間授業、給食始まり 席書会（5、6年生）	21日（木）避難訓練、5時間授業 校内書き初め展始（公開なし）
11日（月）成人の日	23日（土）土曜授業（公開なし）
12日（火）席書会（1～4年生）	25日（月）クラブ活動 （3年生クラブ見学）
13日（水）学力フォローアップ教室	3～6年生は6時間授業
14日（木）委員会活動（6校時に実施） （代表委員の3、4年は6時間授業） 1～4年は5時間授業	26日（火）校内書き初め展終
	27日（水）学力フォローアップ教室

〈水筒の持参について〉

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、1月から水筒を持参し休み時間に飲んでもよいこととします。中身は水またはお茶です。水筒の衛生を保つことができるよう、持ち帰りについてご家庭でもご指導くださいますようお願いいたします。

音楽会（12月12日、14日）

音楽担当 小林 法子

先月の音楽会におきましては、保護者の皆様にご協力いただき、そして、ご鑑賞いただき、ありがとうございました。今年度の音楽会は、新型コロナウイルス感染症対策として、12日に保護者鑑賞日、14日に録画収録による児童鑑賞を行う等、異例づくしの開催となりました。そんな中で児童は、「表現する楽しさを分かち合おう」というテーマをもとに、それぞれの学年が心を合わせ、すばらしい音楽を表現する姿を見せていました。今回の発表は、決して特別なものではなく、日々の学習の延長上としてのものでした。その中で友達と音を合わせるために繰り返し練習をしたり、できるようになるために進んで声をかけ助け合ったりしたことは、児童の大きな成長につながったことと思います。音が「ピタッ」と合った瞬間に「やった～！」と互いに喜び合う姿を見て、とてもうれしくなりました。音楽室や教室で、表現する楽しさを感じることでできる学習を展開しつつ、今後の児童の成長を見守っていききたいと思います。



生活指導について

生活指導主任 阪本 まなみ

冬季休業日が終わり、学校生活が始まりました。冬季休業中は過ぎゆく年を振り返り、自分の生活を見つめ直すとともに、新しい年への希望を抱き、決意を固めるよい機会となったことと思います。

学校はこれから1年の締めくくりの時期を迎えます。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、人との関わり方や体験的な活動の制約など、通常とは異なる状況に対しての様々な混乱やストレスを生じながらもここまできました。どのような状況においても、学校では今できることは何かを模索し、日々の地道な取組の積み重ねの中で子供たちの力を伸ばし、次の学年につなげていきたいと考えています。

生活指導においては、コロナ禍にあることも鑑み、人権尊重の精神を育むこと、自他の生命を大切にすること、規範意識を高めることを重点的に指導しています。具体的には、①誰もが大切な存在であり、思いやりの心をもって他者とかかわることができるようにすること。②どんなに小さなことでも心配なことがある場合には、学校はもとより保護者をはじめ信頼できる大人に相談すること。③学校や社会のルールを守ることの大切さを理解し、行動できるようにすること。これらの取組を通して、子供たちが温かい雰囲気の中で安心して生活することができるよう、教育活動を進めていきます。

今後も本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。



1年生の様子

1年担任 市野 友子

この半年間で、色々なことができるようになった1年生です。書き順に気を付けて平仮名が書けるようになりました。片仮名や漢字も読んだり書いたりできます。計算も早くできるようになりました。時計も読めます。お掃除も自分たちでできます。給食当番や係の仕事をするのも大好きです。休み時間は、北風にも負けず、鬼ごっこやボール投げを楽しんでいます。運動会・音楽会もお兄さんお姉さんに負けないくらい頑張って、楽しんで参加することができました。英語も楽しく学習しています。外国語活動では、英語を使って友達とコミュニケーションをとり、ゲームやクイズを笑顔で楽しみました。一つ一つの経験が子供たちのたくましさや、粘り強さを育てています。新年を迎えて、あと3か月で2年生になる1年生ですが、「かっこいい2年生」になることを目標に、進化し続けていく姿を応援していきたいと思っています。

